

地域おこし協力隊が着任しました!

6月8日、小坂町地域おこし協力隊に着任した緒方 瑛おがた あきらさんの任用通知交付式が行われました。

地域おこし協力隊とは、各種の地域協力活動に従事する人材を都市地域等から誘致し、地域活性化を促進させるために、総務省からの支援を受けて行う制度で、昨年度は、移住定住コーディネーターとして佐藤 学さんが着任しています。

緒方さんは東京都出身です。緒方さんには、鶴地区でのブドウ栽培や小坂七滝ワイナリーや産直センターでの補助業務に取り組んでいただきます。これからどうぞ、よろしくお願いします!

○緒方さんからのコメント

「社会経験もなくまだまだ未熟な私ですが、これから新しいことを知っていくのを楽しみに、様々な業務に対し前向きに取り組んでいこうと思っています。よろしくお願いいたします。」



地域連携DMO



秋田犬ツーリズム だより
AKITAINU TOURISM

3つの観光施設(秋田犬の里、阿仁異人館、康楽館)の館内を仮想で見学できる3DVR映像を制作してきましたが、この程、3施設の3DVR映像を秋田犬ツーリズムウェブサイト(<https://visitakita.com/>)で公開しました。

この取り組みは、新型コロナウイルス感染拡大によって来訪を控えているお客様にオンラインで観光体験を提供することで、地域の魅力を感じていただきながら、将来の来訪につながることを狙いに公開するものです。

最新のカメラと技術により建物内部を立体的・高精細に視覚化する3DVRは、まるでその場にいるかのように自由に施設を見学することができますので是非ご覧ください。



※QRコードからウェブサイトを確認することができます。

クマを寄せ付けないために

! 行動範囲の点検を行いましょ!

庭や散歩コースに、サクラやクワ、栗、ブナ類(ドングリなど)、柿、スモモなどの、クマが興味を持つ樹木はありませんか? 不要な樹木なら、撤去することもご検討ください。

また、クマが隠れやすい場所は、茂みや雑木林などの自然物だけでなく、小屋などの出入りが少ない建物も可能性があります。また、ブロック塀や住居などの陰も要注意です!

そのような場所の有無や、距離を取って行動できる環境かどうか、確認してみましょう。

! 興味がありそうなものが放置されていませんか?

果実だけでなく、生ゴミや廃棄野菜、米ぬかや漬け物・味噌などの発酵食品、ジュースやビール、保存食の空き缶などは、主に臭いでクマを呼び寄せてしまいます。

また、揮発性の燃料(混合ガソリンなど)の臭いに興味を持ってイタズラする個体もいるようです。

クマを寄せ付けないためには、臭いが外に出ないように適切に管理するか、早急に処分することが大切です。

- ▶ クマの被害や目撃が 別の所に行こう…(・I・)
- ▶ ありましたら、
- ▶ 観光産業課農林班
- ▶ (TEL29-3912)へ
- ▶ ご連絡ください。



この冊子は環境に配慮し、再生紙および植物油、大豆インクを使用しています。

「広報こさか」は、毎月10日の発行日に自治会に届けているため、皆様のお手元に届くまでに若干の日数を要することがあります。ご迷惑をおかけしますが、ご了承くださるようお願いいたします。

広報こさか [No.1130] 2020 (令和2年) 年7月号 (毎月10日発行)

編集・発行/小坂町役場総務課 (〒017-0292 秋田県鹿角郡小坂町小坂字上谷地41番地1 TEL0186-29-3901 FAX0186-29-5481)

町のホームページ <https://www.town.kosaka.akita.jp/> Eメール koho-kosaka@town.kosaka.akita.jp